

約 20 年間のステロイド使用後の全身症状と休職を経て皮膚状態が整った成人アトピーの経過 (27 歳 女性)

症例 ID：001-20-SE | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から強いアトピーがあり、顔のつっぱり、手足や背中の亀裂を伴う乾燥症状が続きました。10 歳頃から約 20 年間ステロイド外用を使用しました。

長期使用後、顔が赤く火照り、強いかゆみが出て、ステロイドを大量に塗っても治まりにくくなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	10 歳頃から約 20 年間ステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	長期にわたり複数の強さの外用薬を使用したと考えられますが、詳細は不明です。
使用期間	約 20 年間です。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～成人期	長期経過	全身の乾燥、亀裂、かゆみに対してステロイド外用を続けました。
約 20 年後	外用効果の低下	顔が赤く火照り、強いかゆみが出て、外用しても治まりにくくなりました。
治療開始	中止	ステロイドを中止し、漢方治療を開始しました。
治療 1 週間後	全身浮腫	全身が著しく腫れました。
治療 2 週間後	症状の強い時期	全身の強いかゆみと、掻き崩した皮膚からの黄色い浸出液がみられました。
その後約 6 か月	休職・治療	会社を休み、治療に専念しました。
約 3 年後	経過後	かゆみ、顔のつっぱり、手足の鱗状皮膚はみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 1～2 週間後に全身が著しく腫れ、強いかゆみと黄色い浸出液が出て、休職が必要となった時期です。

5. 困りごと

- 顔の赤みと腫れにより、人目を避けながら通勤する時期がありました。
- 全身の浮腫、強いかゆみ、浸出液により約 6 か月休職しました。

6. 経過のまとめ

治療開始から約 3 年後には、かゆみ、朝の顔のつっぱり、手足の鱗状皮膚はみられなくなりました。皮膚状態はアトピー発症前よりも整ったと感じられる状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。